

Peregrinos

ペレグリーノス

佐藤裕希恵 (ソプラノ)

瀧井レオナルド (中世リュート/ルネサンスリュート/テオルゴ)

つのだたかし (ルネサンスリュート/ラウタ /バロックギター)



©PROGRAM *演奏者の都合で変更になる場合があります

聖母マリア頌歌より(アルフォンソ賢王編, 13c.スペイン)

涙あふれ/春が来た(ランディーニ, 14c.イタリア)

緑の野でため息をつこう(エルヴァス写本, 16c.ポルトガル/スペイン)

ロシニョール(作者不詳, 16-17c.イギリス) *lute duo

西風は吹き 陽気が戻ってきた(カーラ, 16-17c.イタリア) *Vox Poetica

そうやって僕を蔑むのか?(フレスコバルディ, 17c. イタリア) *Vox Poetica

蔑みの瞳(マリン, 17c.スペイン)

恋する男たちよ 教えてあげよう(フェラーリ, 17c.イタリア) 他

さまざまな弦の響きに歌をのせて
ちょっと風変わりな音楽の旅へ

peregrino, -na [形] 1. 巡礼の 2. 見知らぬ土地を旅する 3. 鳥の渡りの
4. 筋の通らない 5. 並外れてすばらしい [名] 巡礼者 (テイラー・コンサエス西和辞典)

2020. 11/23 (月祝) 開演 14:00 開場 13:15 全指定席 前売 4,500 円 学生 2,000 円

Hakuju Hall ハクジュホール 小田急線・代々木八幡駅南口/千代田線・代々木公園駅一番出口

主催: ダウランドアンドカンパニー 協力: Office Vox Poetica 共催: 株式会社白寿生科学研究所 Hakuju Hall



ハクジュホール古楽ルネサンス 2020 は、2月29日の第1回「パルドン 30周年記念」を最後に
 コロナコロナの毎日が続き、ついに9ヶ月間、無言ダンマリ自粛の私でした。
 毎日テレビで見る折れ線グラフにも棒グラフにも大きな変化は感じられないのですが、
 明るい兆しが見えてきたのか、コンサートもそろそろと再開してよいとのこと。

コロナにはこのまま静かに消えていってほしいと願うばかりです。

さて、本日の「ペレグリーノス」。スペイン語辞典によると、peregrino は巡礼者、外国を旅する人、
 鳥の渡り、風変わりな、脈絡のない、そして並外れてすばらしい、などさまざまな意味があります。

ちょうどこの3人のアンサンブルにはぴったりではないか。

若い二人の演奏家の力を借りて、ちょっと風変わりな旅に出ます。(つのだたかし)

佐藤裕希恵 (ソプラノ)

YUKIE SATO

東京芸術大学声楽科卒業、同大学院古楽科修士課程修了。修了時にアカンサス賞受賞。2011年よりバーゼルのスコラ・カントルム修士課程で学び、中世、ルネサンス、バロック、オペラなど幅広いレパートリーにおいて更なる知見を深める。「濃密な演技と輝くような歌唱法を融合させた」(マディソン・マガジン)とその技術と表現力は国際的に高く評価されている。国際古楽コンクール Canticum Gaudium 第1位(ボズナン 2013)、国際古楽コンクール《山梨》第1位(山梨 2015)、国際ヘンデルアリアコンクール第3位(マディソン 2014)を受賞。2015年にはイタリア人の女 / ファントム役でシャルバンティエのオペラ《メデ》に出演し、M. コジェナーと共演(A. マルコン指揮)。ヘンデル『メサイア』、J.S. バッハ『ヨハネ受難曲』などにソリストとして欧州各地で数多く出演。A. マルコン、アンサンブル・ジル・バンショワ(D.ヴェラール)、寺神戸亮など世界屈指の古楽演奏家、アンサンブルと数多く共演し、アンサンブルソリストとしても厚い信頼を得る。デュオ《ヴォクス・ポエティカ》では瀧井レオナルドとの息のびたりと合った演奏で人気を集める。桜美林大学非常勤講師。



瀧井レオナルド (リュート/テオルボ)

LEONARDO TAKIY

日系ブラジル人三世。サンパウロ州立大学をクラシックギター専攻で卒業。サンパウロ州立音楽院でリュートを学びディプロマを取得。2011年よりバーゼルのスコラ・カントルムで名手ホブキンソン・スミスらに学び、学士号及び修士号を取得。ブラジルやスイスをはじめ各地でソロリサイタルを開催。2014年にはサンパウロ州立音楽院に招かれ、マスタークラス(リュート属楽器)を行った。2017年日本へ移住。波多野睦美(メゾソプラノ)やつのだたかし(リュート)とのデュオをつとめる等、共演者の呼吸に寄り添う演奏に信頼を集める。ソロと通奏低音両方において高く評価され、通奏低音ではR. ヤコブス、R. アレックスサンドリーニ、G. アントニーニ、R. エガーらの監修・指揮するアンサンブルで演奏する等、国内外の著名な音楽家やオーケストラと数多く共演。佐藤裕希恵(ソプラノ)とのデュオ《ヴォクス・ポエティカ》では独自の世界観を追求し、研ぎ澄まされたアンサンブルで聴く人を魅了。フェルメール展公式タイアップCD(キングレコード)ではリュートソロ及びデュオで収録に参加。2020年9月ヴォクス・ポエティカソロCD『テオルボと描く肖像』をリリース。公式サイト: www.voxpoetica-duo.com

つのだたかし (リュート/ラウタ/バロックギター) TAKASHI TSUNODA

1976年ドイツのケルン音楽大学リュート科を卒業、帰国。言葉によりその楽器としてのリュートの特性を生かし、歌との緻密なアンサンブルに長年、力を注ぐ。エマ・カークビー、ロベルタ・マメリ、エヴリン・タブ、波多野睦美ほか内外の名歌手の厚い信頼を得て共演し、イギリスのリュートソング、イタリアのマドリガーレなど、16-18世紀の声楽作品を中心としたプログラムで国内外のコンサート、音楽祭に出演。モンテヴェルディのオペラ「オルフェオ」企画、シェイクスピアの「十二夜」などの舞台作品、映画の音楽も手がけ、リュートの音色と可能性、この時代の声楽曲の魅力を多くの人に届けてきた。またジャンルを越えた古楽器バンド《タブラトゥーラ》を主宰、そのユニークな音楽性で国際交流基金派遣公演に選ばれ、世界各地で公演。

自身の古楽レーベル『パルドン』から、リュートソロの他、さまざまな歌手との共演CD作品を多数発表。2004年からHakuju Hallで《古楽ルネサンスシリーズ》を企画。「徹子の部屋」「題名のない音楽会」「NHK きらクラ」などに出演。



チケットご予約

◎ダウランド アンド カンパニイ TEL.042-390-6430
 dowland@dowlandjp.com <http://www.dowlandjp.com>

郵便振替=番号00160-8-142068 加入者名:パルドン
 ゆうちょ銀行=019支店 当座0142068 口座名:パルドン
 記号:001608 口座番号:142068 口座名:パルドン
 三菱UFJ銀行振込ご希望の方はお問合せください

*学生券取り扱いはダウランド アンド カンパニイのみ

◎ハクジュホールチケットセンター オンライン予約のみ
<https://www.hakujuhall.jp/ticket/index.html>

Hakuju Hall

渋谷区富ヶ谷1-37-5
 白寿生科学研究所
 本社ビル7階
 TEL.03-5478-8867

◎小田急線
 代々木八幡駅 南口
 ◎千代田線
 代々木公園駅 1番出口
 駅から受付まで徒歩8分
 駅出口を左に進み、最初の信号の交差点右斜め前方のガラス張りビル7F

